

犬山市長 原 欣 伸 様

提言日：令和 8 年 3 月 日

犬山市障害者自立支援協議会

会 長 木 村 敏 夫

1. 福祉避難所への直接避難について

本市における災害時の避難体制の強化に向け、介護や日常生活の支援が必要な障害者が、迅速かつ安全に避難できる環境整備は極めて重要である。現状、福祉避難所は「二次避難所」とされ、一次避難所を経由する運用となっている。しかし、障害者にとって、一次避難所では受け入れ体制が十分でない場合が多く、移動負担や安全確保の面で大きなリスクが生じている。については、福祉避難所を実質的に一次避難所として機能させるとともに障害者が直接避難できる体制整備として下記資機材の導入を要望する。

<必要資機材>

- 医療的ケア機器（人工呼吸器、吸引器、在宅酸素等）の電源確保のための発電機・蓄電池等

2. 災害時の安否確認における行政・障害福祉事業所の連携強化について

災害発生時、障害福祉事業所や行政は、支援が必要な市民の安否確認を迅速に行う必要があり、安否状況を共有することは極めて重要である。しかし現状では連絡手段が統一されておらず、情報伝達の遅延や重複が発生する恐れがある。そのため、行政・障害福祉事業所が共通して使用できるよう連絡手段の仕組み構築を要望する。

<期待される効果>

- 情報伝達の迅速化
- 安否確認の一元化
- 支援ニーズの早期把握
- 行政・事業所間の連携強化
- 災害時の支援対象者の漏れ防止

結び

本提言は、災害時における障害があり支援が必要な市民の安全確保と、行政・福祉事業所の連携強化を目的としたものである。市民の命と尊厳を守るため、上記施策について前向きな検討と早期の実現を強くお願い申し上げる。